

## 『「蒼柴垣神事」民俗文化財調査報告書』執筆要項

令和 年 月 日  
松江市文化財課

## 一、判型・版面

判 型…A4判(縦二九七×横二〇〇)・全ページカラー

本文縦組二段、一段三六字×二七行(二頁一九四四字)。

資料編縦組三段、一段一八字×四二行(二頁二六八字)。

本文版面…縦二五七×横一五八、キヤプシヨシ込み。

キヤプシヨシ…図の場合は下、表の場合は上、図1、表1のように表記。

本文活字…MS明朝、本文二〇・五ポイント、本文括弧内および註は一〇ポイント。

資料編本文八ポイント。

提出データ形式…マイクロソフトWord文書(拡張子.docx)

データ提出について…一次ベ切令和八年七月三十一日

二次ベ切令和八年十月三十一日

校正Ⅱ三回。校正で大幅な変更は認めない。

## 二、本文について

・章、節、項に分け、項は「一」「二」など漢数字で見出しを付ける。項をさらに分ける場合には、「(一)」「(二)」など漢数字に括弧を付けて見出しを付ける。それ以下に分ける場合には「①」「②」などとして見出しを付ける。

項と項の間は一行空ける。

・文体は、常体とする。

・漢字表記は、固有名詞や史料など、やむを得ない場合を除き、JIS第2水準ま

での字体を用いることを原則とする。

・民俗語彙は漢字表記が可能なもの、また、現地で漢字表記が行われているものは漢字表記を行い、それ以外はカタカナで表記する。

・一般語の送りがな表記は、基本的に『広辞苑』に倣うが、学芸で名詞として一般化している用語の場合はその限りではない。

・数字は原則として漢数字を用い、引用文以外は「十」「百」「千」等を用いない。

例 五〇戸、一二三名

・年月日の表記には十を含み表記し、年号は、「明治二十二年(一八八九)」のように、「元号、漢数字、年(西暦)」のかたちで表記する。元年の場合は、「慶長元年」と表記し、「慶長1年」とはしない。西暦表記は大正以前について行い、昭和・平成・令和についてはこれを省く。

例 明治二十二年(一八八九)十二月十三日

・年号に幅がある場合は、「慶長十八年」元和五年(一六一三～一六一九)のように表記する。また、「(元号)年間」の場合の西暦は、「慶長年間(一五九六～一六二五)」のように、改元年(一六二五年)慶長二十年は七月十三日に改元して元和元年となる)を含めて表記する。

・距離や長さの単位表記はmm、cm、m、km、重さの単位表記はg、kgとする。

・度量衡は、実際に用いられた単位、または聞き取りした単位で表記する。

・接続詞や副詞は、原則的にひらがな表記とする。

・「おこなう」、「おこなった」は「行う」、「行った」とする。

・「〜」と「」の記号は、「〜」が数の幅を示し(たとえば三五～五〇cm)、「」は区間を示す(たとえば、松江「米子」場合に用いることとする)。

・( ) が重複する場合は、内側の( ) を省略する手段で対処する。

例…長谷寺本堂(奈良県桜井市、慶安三年(一六五〇))

↓長谷寺本堂(奈良県桜井市、慶安三年(一六五〇)) 「」を用いる。

…(前掲註2)参照) ↓…(前掲註2参照) 註2の( ) を省

略。

(案)

(案)

・斜め方向の方位表記については、

A. ある地点を基準に、そこからの方向を示す場合には、「北東」、「南西」のように、「北」「南」を先頭にして表記する。(例：北東の風。南東から北西に向かって) (to the south of … のような用例)

B. ある一定の範囲内のどこにあたるかを示す場合は、「東北」「西南」のうに、「東」「西」を先頭にして表記する。(例：東北地方。西南日本。建物東南隅) (in the south of … のような用例)

三、写真および図版について

・写真の使用・撮影に関しては、肖像権や著作権に配慮して使用・撮影すること。  
・写真、図版は、本文中の挿入箇所に軽容量のデータを配置もしくはテキストボックス等で指示をし、別途データを提出すること。

四、註について

・註は各節の末尾に置く形式とし、本文との間は一行分を空ける。  
・註や引用文献は本文よりも一字下げる。  
・註の表記は、本文末に「(註1)」とする。註では数字のみ「1」のようにし、一行目の行頭は二行目以下の行頭よりも一字下げる。  
・註も一つのセンテンスと見なし、文献を引用する場合も、末尾には句点「。」をつける。

・単行本・報告書の場合は、著者・编者(出版年)『書名』出版発行人(著者・编者と異なる場合のみ)の順

例：和歌森太郎(一九五五)『美保神社の研究』弘文堂。

・論文の場合は、著者(出版年)「論文名」『掲載雑誌名 掲載書名』巻号(雑誌の場合のみ)、発行者(掲載書の場合のみ)。の順。

例：横山直正(二〇二二)「美保神社の青柴垣神事・諸手船神事」『島根の祭りと民俗芸能』いづも財団・出雲大社御遷宮奉賛会。

・雑誌の巻号は第、巻、号、期などの漢字は省略、第〇巻第〇号の場合、〇—〇で表示。

例：和歌森太郎(一九四七)「美保神社の一年神主」『民間伝承』一一—四。

五、表記ゆれについて

・表記のゆれる語は現地での表記、また「私祭詳解」での表記をもとにしながら、また美保神社ホームページで採用されている表記を参考に表記する。

・非常用漢字については、その都度判断する。

・表記についての例

・「◆」は「私祭詳解」で採用されたものを示しています。

・「◇」は『松江市史 別編2 民俗』で採用されたものを示しています。

・「☆」は美保神社ホームページで採用されたものを示しています。

・「▽」は「美保関新聞」で使用されているものを示しています。

動植物

動植物は素材となる場合はカタカナ、加工品となる場合には漢字表記を基本とする。

・イカ コンブ イカ、コンブ イカ・コンブ 烏賊、昆布 烏賊・昆布 **いか 昆布**  
◆ 烏賊 昆布・烏賊、昆布・いか 昆布 ◇ イカ・コンブ

民俗語彙等

・アオフシガキシシジ 報告書のタイトルでは「蒼柴垣神事」を使い、本文中では「青柴垣神事」を使う

・トウヤ **當屋** 當屋 頭屋 頭家 ◆ 當屋 當屋 ◇ 當屋(頭屋) ☆ 當屋  
▽ 當屋

※※各小路の歳徳神祭祀のためのトウヤは當屋と表記する。

※トウヤ組織 **當屋組織** 當屋組織 頭屋組織

(案)

※トウスジ 頭筋 當筋 ◇頭筋 ▽頭筋  
※トウニン 頭人 當人 当人 一年神主 ◆頭人 ◇頭人 (二年神主)  
☆頭人 ▽頭人・当人  
※トウニンミヤ 頭人宮 ◇頭人宮  
※イチノトウヤ／ニノトウヤ イチノトウ／ニノトウ 一ノ當屋／二ノ當屋  
一ノ當屋／二ノ當屋 一の當屋／二の當屋 一の當屋／二の當屋  
一の頭屋／二の頭屋 一の頭家／二の頭家 一の頭屋神主／二の頭屋神主  
一ノ當／二ノ當 一の當／二の當 一ノ頭／二ノ頭 一の頭／二の頭  
◆一ノ當／二ノ當 一の當／二の當 二ノ當屋 ◇一の當屋／  
二の當屋 ☆一ノ當／二ノ當 ▽一ノ當／二ノ當 一の當／二の當  
※ヒラド 平當 平當  
※ヒキド 引當 引當 引き當 ◆引當 曳當 ▽引當  
※マロドトウ マロドトウ マルトトウ 客人當 客人頭 ◆客人當 客人当  
◇客人當 (頭) ☆客人當 ▽客人當  
※トウザシ／トウザシモチ 當指／當指餅 當指／當指餅 ◆當指／當指餅  
・ジョウガン 上官 上番 ◆上番 ◇上官 ☆上官 ▽上官  
・ジュンガン ジンガン 準官 準番 神官 ◆準官 ◇準官 ☆準官 ▽準官  
※ジョウジュンガン ジョウジュンバン 上準官 上準番 ◆上準官 ▽上準官  
・イチノゴゼン／ニノゴゼン 一ノ御前／二ノ御前 一の御前／二の御前  
一の御前／二の御前  
・オンド 小忌人 ◆小忌人 ◇小忌人 ▽小忌人  
・トモド 供人 ◆供人 ◇供人 ▽供人  
・タツシヤ 当知 當為知 達者 ◆タツシヤ・當知 ◇當為知 ☆當為知 ▽達者  
・ササラ ささら 編木 偏木 ◆編木 ◇ササラ ▽偏木  
・アヤガサ 綾笠 あや笠 ◆綾笠 ◇あや笠  
・イスズバコ イスズ箱 齋錫箱 ◆齋錫箱 ◇イスズ箱

・イモゼン 芋膳 いも膳 イモ膳 ◆芋膳 ◇芋膳 ▽芋膳  
・ウワバ 上羽 ◆上羽 ◇上羽 ▽上羽  
・オオタツ 大辰 大竜 ◆大龍 大辰  
※リュウノヒゲ 龍のヒゲ 龍のひげ 龍の髭  
◆大龍さんの足 大辰さんの足 ◇龍のヒゲ  
・オオダナ 大柵 御柵 ◆大柵 ◇大柵 ☆御柵 ▽お柵・御柵  
・オトコバシラ 男柱  
・カコ 水主 水夫 水手 楫子 櫂子 ◆櫂子 ☆櫂子  
・オオガイ 大櫓 ◆大櫓 ☆大櫓  
・オオワキ 大脇 ◆大脇 ☆大脇  
・カラビツ 唐櫃 辛櫃 ◆辛櫃 ◇唐櫃  
・カワラケ 土器 かわけ カワラケ ◆土器 ◇カワラケ  
・コモ 薦 菰 ◆薦  
・サンポウ 三方 三寶 ◆三寶  
・シオカキ 潮かき 潮搔き ◆潮垢離・潮搔き ◇潮カキ ☆潮搔き  
▽潮搔き・汐搔き  
・シオダイ 塩鯛 ◆塩鯛  
・シトギ 菜 ◆菜 ◇菜  
・シメナワ しめ縄 注連縄 七五三縄 ◇注連縄  
※オシメカケ シメカケ ・オ お 御  
・シメ しめ 注連 七五三  
・カケ かけ 掛け 掛け 懸  
◆御掛け 御注連掛 ◇注連懸け ▽御七五三懸・御注連懸  
・セイロ 蒸籠 蒸籠 せいろ  
・チョウケイ 蝶形 蝶啓 ◆長形 ◇蝶形  
・サカズキ 盃 杯 ◆盃  
・トリツクリ／トリアゲ 酉造り／酉揚げ ◆鳥造り／酉揚げ

(案)

◇西造り／西揚げ ☆鳥造／鳥揚  
▽鳥作、西造

・ミホツヒメノミコト 三穂津姫命 美穂津姫命 ◇ミホツヒメ ☆三穂津姫命

・ナマス 膾 なます 鱈 ◆なます ◇なます

※ニナマス 煮なます ◇煮なます

・マナイタ まな板 俎板 ◆俎板 ◇俎板

・マツカ 真劔 マツカ ◆マツカ ◇マツカ ☆真劔 ▽真劔

・ミキ 神酒 御酒 ◆神酒 ◇神酒

・ミクジ みくじ 神籤 御籤 ◆御籤・神籤 ◇神籤 ☆みくじ  
▽神鬺・御くじ

▽神鬺・御くじ

※クジ くじ 籤

※チュウセン 抽選 抽籤 抽せん

・ミコ 巫女 巫子 ◆巫子 ◇巫女 ☆巫女

・ミフネ 御船 神船

・ゴザ 莫座

・ムシロ 筵 蓆

・モチツキ 餅つき 餅搗き ◆餅搗き ◇餅搗き ☆餅搗き

※モチをツク 餅を搗く 餅をつく ◇餅を搗く

・ヤクモイタ カガミイタ 八雲板 鏡板 ◆八雲板 鏡板 ☆八雲板

・ロクシヤマイリ ロクシヤモウデ 六社参り 六社詣で

◆六社詣り 六社詣で

神名

・アメノウズメノミコト 天鈿女命 ◆鈿女 ◇アメノウズメ ☆鈿女

・オオクニヌシノミコト 大国主命 大国主神

・エビス えびす ◇エビス

・コトシロヌシノミコト 事代主命 事代主神 ◇コトシロヌシ ☆事代主神

・サルタヒコノミコト 猿田彦命 猿田彦 ◆猿田彦 ◇サルタヒコ ☆猿田彦